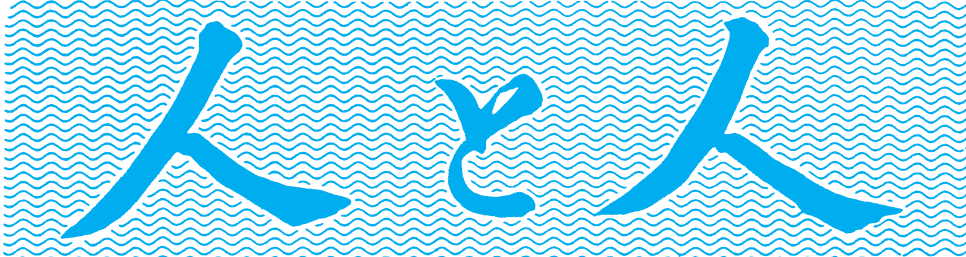




第 90 号



発行

東村山市国際友好協会

編集：広報委員会

東村山市本町 1 - 2 - 3

東村山市役所内

☎ 393-5111 内線2562

http://www.h-ifa.com/

国際友好協会の発展を

副会長 岩瀬 由明



東村山市国際友好協会は、昨年アメリカ、ミズーリ州のインディペンデンス市（以下イ市）と姉妹都市提携30周年を迎え、本年より次なる30年に向かってスタートを切りました。一市民の交流がご縁で東村山市とイ市が姉妹都市提携を結ぶことになり当協会は1978年に設立されました。

これまで両市の間では、毎年学生の派遣、イ市学生の受入、5年毎の市民訪問団の相互訪問等を行なって参りました。本年は残念ながら新型インフルエンザの流行により、万が一を考慮して学生の派遣と受入を中止延期といたしました。

協会の設立以来多くの方々のご理解とご協力と会員の方々のボランティア精神に支えられて、前述した学生の相互派遣、市民の相互訪問の他に、英会話教室の開催、広報紙の発行、会員相互の交流の促進、イ市での日本庭園の造成管理、会費の集金と会員拡充等の事業をそれぞれ委員会組織で継続して楽しく和気あいあいと行なっています。また姉妹都市が縁でイ市の小学校と当市の回田小学校が姉妹校となり、さらにイ市の中学校と市立二中が姉妹校となる予定です。詳しい事業の内容は本年度より当協会のホームページ（HP）を開設していますので、機

会があれば訪問してみてください。

協会の目的に「世界を愛する人々とあらゆる分野の交流を通じて友好の絆を強め、市民の国際意識の高揚を図り平和に寄与すること」とあります。当市も

今では、50カ国以上の外国籍の方が二千二百人余りも住んでおられるそうです。諸活動のグローバル化と共に人種、国境を超えて同じ市民として、相互理解のもとに仲良く助け合って行く必要があります。これからは外国籍の市民にも会員になって頂き、イ市との交流に参加頂ければ嬉しいのです。友好協会の会員は7百名余りの個人会員とたくさん

さんの賛助会員の方々に支えられております。ボランティアは思いやりと助け合いの心だと思

いますがお金で援助する社会貢献もあれば、少しずつの時間と知識と労力を持ち寄って行なう社会貢献もあります。せっかく

灯されたイ市との姉妹都市交流の火を永遠に灯し続けていくために

にも世代交代も必要です。

（敬称略・順不同）

有難うございました
（会費納入御礼）

今年度もまた、当協会の活動にご理解、ご協力頂きました次の方々より賛助会費の納入を戴きました。厚く御礼申し上げます。また、会員の皆さんも会費納入にご協力いただき、ありがとうございます。

（敬称略・順不同）

東京東村山ロータリークラブ、(社)東村山市医師会、(社)東村山市歯科医師会、東村山市薬剤師会、(株)関製作所、青葉調剤薬局、けやき調剤薬局、(株)いなげや東村山秋津店、(株)サニーカルチュアープラザ (TSUTAYA 東村山店)、熊木令次、市川一男、細渕一男、澤田泉、川合萬次郎、角田孝司、斉藤松志、鈴木新吉、増田勝義、當間洋吉、志村治男、丸山キミ、川島玉三、小町佐享、(有)東村山給食センター、(株)長坂式典センター、あさひや製麺(株)、エネックス(株)、JA 東京みらい東村山支店、桜井喜吉、西村良隆、石黒文夫、武蔵野労務管理事務所、東光建設(株)、(有)一勞、(株)ふいっしゅいんてりあ、大野茂、木下孝男、川合みどり、東村山ファーマシー、山崎製パン(株)武蔵野第二工場(現物)、東村山青年会議所シニアクラブ、東村山青年会議所、(有)あおき印刷、木島安明、當間義夫

（会員拡充委員会）

友好協会の活動にご理解を頂き興味を持たれた方は是非協会の活動に参加され活動を通じて市内にたくさんさんの知り合いを増やし、ご一緒にわが町を住み良い明るく豊かな町にしていきたいでしょう。

救命講習会を受講

『つねいつつ時、
ぶつきます。』

事故や病気には十分に注意して毎日を過ごしていますが、突発な災害、事故、病気などといった生命にかかわるかも知れない場面に遭遇した時、救急隊や医療従事者が来るまではその場に居合わせた人が応急手当をしなければなりません。こうした場面には遭うなんて事はめったにあるものではないと思ってい

つしやるでしょうが、誰のためでもなく、最愛の家族のために他人を助ける尊い気持ちのため

に、ぜひとも気道確保、人工呼吸、心臓マッサージ（心肺蘇生）、AEDなどの手技の習得を

をされてはいいかでしょう。習得には実際に体験してみることが何よりです。ということ

で、会員交流委員会の活動のひとつとして、10月18日（日）東村山



救命訓練

消防署本庁舎において東京救急協会および消防署のご指導のもと、「上級救命講習会」を当協会会員の14名で受講しました。命に関わる事柄ですから「知っていること」と「出来ること」とは違うと言うことを十分に留意しながら真摯に学びました。私達の緊張感を解くようにユーモアを交えながらの講義は少し固くなった頭にすっと入るようでした。実技も「一度講習会で習得したから」と安心せず、日々の研鑽と三年毎の講習参加で再確認したいものです。今回私達は全員「上級救命技能認定証」を戴きました。

今回は「上級救命」でしたが来年度は「普通救命」の講習会を開催したいと思っています。けつして難しいことではありません。多くの方が救命に関する知識と技能を深めて頂きたいと思

います。

平成22年度イ市親善訪問派遣団員募集

姉妹都市インディペンデンス市を訪問する派遣団員を募集します。アメリカで実際にホームスティ生活を体験して友好の輪を広げてみませんか。

日程：平成22年7月27日(火) 出発
～8月11日(水) 帰国（2週間）
対象：派遣団員 若干名（中学3年生～22歳）
応募期間：平成22年2月15日(月)～3月15日(月)
*募集要項は2月15日(月)から市役所で配布します。
*派遣の前に選考・事前説明会・数回の研修会が行われます。（派遣委員会）

平成22年度ホストファミリー募集

姉妹都市インディペンデンス市からの来訪学生と引率者に一部屋を提供し、お世話して下さる「ホストファミリー」とホストファミリーを補助して下さる「サポーター」を併せて募集いたします。

滞在期間：平成22年7月13日(火)～27日(火)
☆詳細は市報(12/1発行)または当協会HPに掲載します。（学生受入委員会）

問合せ窓口：東村山市役所
市民部国際・男女共同参画課内国際友好協会
電話 393-5111（内線2562）

英会話講座「コース

(会員交流委員会)

前期講座の閉講式が9月9日に行なわれ75名に修了証が、うち21名には皆勤賞も併せて授与されました。

また後期講座の受講生は89名で、開講式が10月7日に行なわれました。なおその席で講師のゴードン・ホワイト先生にご結婚を祝福し協会より写真立を贈呈しました。先生は9月に郷里のイギリスで結婚式を挙げられました。お相手の女性は日本の

方です。

来期の講座期間は平成22年4月からの6ヶ月間です。募集の詳細は来年3月1日付の市報または協会HPをご覧ください。

(英会話委員会)

外国籍市民のための
防災訓練

東村山市国際交流団体連絡協議会主催の「外国籍市民のための防災訓練」が企画されました。

東村山市の外国人登録者数	
国 籍	人 員 (名)
ア ジ ア 地 域	2,042
	中国 800
	韓国・朝鮮 687
	フィリピン 292
	その他 263
内 訳	63
	58
	37
	33
	35
2,268	
(2009年9月現在)	

(広報委員会)

このような状況をふまえ、災害時における外国人の自助活動を促すため防災訓練が企画されたものです。内容的には消火訓練、救急救護、避難所体験、煙体験等です。

日頃から近所にお住まいの外国籍の方々との交流を深め、災害時の互助活動にも努めたいものです。

(11月28日、八坂小学校体育館) 中央防災会議はむこう30年以内にマグニチュード7クラスの東京直下型地震が発生する確率を70%以上と想定しています。外国籍市民には言語、文化、習慣の違いや災害経験の少なさといった特別なハンディキャップがあります。

このような状況をふまえ、災害時における外国人の自助活動を促すため防災訓練が企画されたものです。内容的には消火訓練、救急救護、避難所体験、煙体験等です。

日頃から近所にお住まいの外国籍の方々との交流を深め、災害時の互助活動にも努めたいものです。

(広報委員会)

市民産業まつり

晴天に恵まれ大好評の二日間

今年も恒例の市民産業まつりが11月7日・8日の二日間にわたって開催されました。当協会も友好都市コーナーの一角にお店をだしました。

会員交流委員会が中心になって準備をととのえ、会員有志や派遣学生など、大勢のサポーターが加わってスタートしました。今年の売り物は昨年と同じ「フランクフルト」のほか、新たに「じゃがバター」と「キャンディレイ」が加わりました。フランクフルトはこんがり焼けて美味、じゃがバターはホカホカで塩とバター味。色とりどりのキャンディをつなげて作ったレイは、かわいらしくて大好評でした。作るそばから売れて行き、初日は早々と完売しました。二日目も人出が多く、好調な



出店風景



今年の新メニュー

市民交流

「十二年ぶりの再会」

新型インフルエンザが、世間を騒がせはじめた今年の5月3日、ミシガン湖畔のドレークホテルで12年ぶり（'97年のメラニ

イ市の姉妹都市委員会は会員による自動車の駐車場貸しや食べ物販売、更に先日東村山市国際友好協会より寄贈された和装小物などの販売で、約4,000ドルの売り上げを得たとのことです。

皆さんも機会がありましたら40年近く続いているこのFestivalを見学にイ市を訪れるというのはいかがでしょう。

(広報委員会)

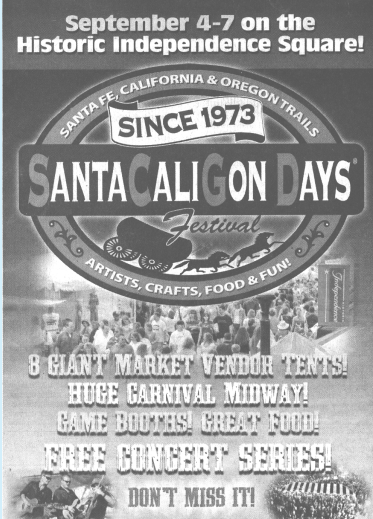


花みずきコーナー

インディペンデンス市では今年も9月4日から7日までの4日間、「Santa-Cali-Gon-Days」Festivalが開催されました。

西部開拓時代、イ市は大陸の西側にあるサンタフェ、カリフォルニア、オレゴンへ通じる主要街道の分岐点でした。西へ向かう人々が日用品や馬車などを用意できる最後の大きな町として栄えました。そのためにイ市は「Queen City of the Trails」と呼ばれるようになりました。これを記念して1973年から毎年Festivalが開催され、街道の行き先の名前をとって、サンタ・カリ・ゴン・デイ祭と名付けられました。

Festivalは無料のコンサート&ショー、ダンス&歌、食べ物コーナーなど楽しさ一杯です。他にスイカの種飛ばし、アイスクリーム食べコンテストなどのユニークな催しもありました。



サンタ・カリ・ゴン・デイ祭のパンフレット

かけた子どもたちのうれしそうな姿に苦労が報れたとのこととです。

二日間とも晴天に恵まれ、大勢の市民の方々に当協会をPRすることができました。また、新型インフルエンザの影響による訪問・派遣事業の延期などで会員どうしの交流する機会が減っていたので、とてもよいイベントになりました。

学校間の交流

東村山第二中学校とイ市バイオナリッジ中学校が、下記のように交流しています。その様子を二中のHPでご覧いただけます。

アクセス

◎東村山市役所（学校のページ）



◎東村山立市東村山第二中学校公式ホームページ



◎NEWS LETTER



▼姉妹都市交流クラブ < Sister City Friendship Club >

アメリカの姉妹都市インディペンデンス市の中学校との交流について

東村山は米国ミズーリ州インディペンデンス市と姉妹都市提携を結んで昨年度30周年を迎えました。小学校では福田小がグレンドール小と20年に渡る交流を重ねてきました。昨年度に、中学校でも交流をはじめようということになり、今年1月より2中とバイオナリッジ中学校との交流事業がスタートしました。

2中では、姉妹都市交流部が発足し、現在2、3年生約20人の部員が活動しています。こちらからは部員の自己紹介カードを送り、2中紹介のニュースレターをメールで送りました。バイオナリッジ中学校からは、つい先日、部員の自己紹介カードが届きました。

※2中からのニュースレターは、このページの下にあります。ぜひ読んで下さい。

国際友好協会が行っている毎年夏の高校生交換事業が、今年度はインフルエンザの影響で中止になりました。が、来年度の夏には高校生と、中学校の先生が2中を訪問される予定です。



あの人は今

私は今から12年前、第19回派遣生としてイ市を訪問しました。当時、高校3年生だったにもかかわらず「受験勉強をすっぽかして夏休みに3週間も海外へ行く」ということで、担任の先生に説明（説得？）しに行ったことを今でも覚えています。

私のステイ先は5人家族のリア家で、3人兄弟でした。なかなか会話のつながらない私を温かく迎えてくれました。長男のマイケルは年が近いうえに、同じバンドが好きで話が通じ、とても嬉しかったことを覚えています。ハイスchoolの友達のカーステレオを鳴らし、皆で騒ぎながら走ったのは爽快でした。

この間、イ市学生訪問団の様子をビデオに収め10分以内で編集した「心温まる交流」「友好の絆は宝」「初めての体験」などが良き記念になっています。

これらビデオ作品の一部は、30.及び個人でサーバーを立ち上げた人の好意で、別の作品と共に延べ35本をインターネットで公開放映中です。

ビデオを個人で楽しむ分には問題ありませんが、公開するとするとBGMに使う曲の著作権や演奏権の許諾をとって使用料を払うか、あるいは一般のCDよりかなり高額な著作権フリー曲を使うしかありません。このほか肖像権などにも注意が必要です。

なお公開中のビデオは、インターネットで「ビデオ楽し」と入力し検索すると「ビデオ楽し

コーヒブレイク



ホテルのロビーにて

崎本 敬子（旧姓堀川）

近況、また、私の両親の事、更に、フアッションや世間の景気の話まで、40才前後の社会人の話題は、12年の歳月をつくづくと感じさせるものでした。

「11年の東京マラソンに出場したい」と願うメラニーの言葉に、エールを送ります。

色々なことが初めてづくしでしたが、初の海外旅行がホームステイという得がたい経験をさせて頂き、サポートしてくださった方々には感謝感謝です。

学生派遣もあととして30回。三十路を目前に控えた私も感慨深いものがあります。（恥ずかしいながら）年に一度のお手伝いの場である産業まつり（11月）で見かける、若い派遣生の澁瀬とした姿が眩しい限りです。

市役所に勤めて6年になりました。『ご縁』があつて、色々な方との素敵な出会いがあつたから今があるのだと感じております。微力ながら皆さんと楽しく国際交流のお手伝いができればと思っておりますので、これからもよろしくお願い致します。

09・10・15 深野 聡

お知らせ

左記の日程でマリンバ北星会主催、日中友好協会及び国際友好協会後援による、歳末たすけあいチャリティーコンサートが開催されます。

☆12月12日（土）午後1時より
☆富士見公民館

編集後記

例年の秋の特集記事であったイ市学生派遣団の報告をご紹介できず残念ですが、一味違う記事を掲載できたと思います。

今号は市内新聞販売店の皆様のご協力をいただき全戸配布といたしました。